



PICK UP

story /

チームの柱になる、ふたりの外国籍選手を抑えろ

今節の相手は、今季にB1に復帰してきた島根スサノオマジック。シーズンも後半戦に入ったが、島根とはこれが今季初対戦だ。

今季の島根は開幕から5連敗を喫する、苦しい立ち上がり。その後も12月に4、1月から2月かけては7と連敗を重ね、現在は西地区で最下位に沈んでしまっている。

チームの柱になっているのは、身長211cmのセンター#41ブライアン・クウェリと、同じく206cmのパワーフォワード#4ロバート・カーター。クウェリはゴール下を主戦場に、カーターはアウトサイドからのシュートを交えて、ともに1試合平均20得点近くをあげるばかりか、両者とも1試合平均約10のリバウンドを獲得する。島根は得点とリバウンドが外国籍選手に偏っているので、とにかくふたりを封じることが大きなポイント。島根の外国籍選手は12月に新加入した#35ドゥワン・サマーズも控えているが、軸になるのはクウェリとカーターの組み合わせだ。

**24 SG/SF
今村 拓夢 いまむら たくむ**

昨年12月に特別指定選手として加入。エヴェッサのユニフォームを着ることになった経緯、持ち味は3Pシュートなど島根の相馬とは類似点が多い。今節はどこかのタイミングで起用され、訪れるであろう相馬とのマッチアップの場面に注目したい。



ARE YOU